

(様式第4号)

上田市地域クラブ活動推進協議会（令和7年度第1回） 会議概要

1 審議会名	上田市地域クラブ活動推進協議会
2 日時	令和7年8月19日 午後7時から午後8時30分まで
3 会場	市役所本庁舎 5階 大会議室
4 出席者	池田会長、矢島副会長、飯島委員、金井委員、佐野委員、竹田委員、緑川委員、矢島委員、由井東信教育事務所指導主事（オブザーバー）
5 市側出席者	酒井教育長、小林文化スポーツ観光部長、春原文化政策課長、宮下文化政策課係長、清水スポーツ推進課長、宮下スポーツ推進担当係長兼交流スポーツ担当係長、渡辺学校教育課長、川俣学校教育担当係長、齋藤地域展開推進コーディネーター、畠山地域展開推進コーディネーター、綿内学校教育担当主査、小井戸学校教育担当事務職員
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 1人
8 会議概要作成年月日	令和7年8月25日

協 議 事 項 等

- 1 開 会（事務局）
- 2 教育長あいさつ（酒井教育長）
- 3 人事通知書交付
- 4 会議事項
  - （委員） 前回の協議会では、「上田市中生期のスポーツ・文化芸術活動指針」と「上田市部活動地域展開推進計画」を成案とした。上田市は平日休日のクラブ化を一体的に進めていき、令和8年度をもって部活動は終了する。運動系・文化系で分けて進めていくため、それぞれ小委員会を設置し、関係者で議論を進めている。この小委員会で検討した基本方針とクラブ募集要領について、本協議会で議論頂きたい。教育長からもお話があったように、子どもたちがやりたいことを選択し活動していけるように進めていきたい。
  - （事務局） 資料に沿い、以下について概要説明
    - （1） 小委員会開催報告について
    - （2） 「（仮称）上田地域クラブ」基本方針について
    - （3） 「（仮称）上田地域クラブ」募集要領について
    - （4） 「（仮称）上田地域クラブ」の名称について
  - （委員） スケジュールに沿って推進していくために、本日、基本方針と募集要領について成案としたい。これらについては小委員会でも議論しご意見を頂いているが、今回委員交代で初めて参加される方もいるので、質問も含めご意見等を頂きたい。
  - （委員） 今年度から参加させて頂いている。これまで地域クラブの立ち上げ、部活動の今後について勉強もしてきた中でお聞きしたい。民間のクラブと上田地域クラブとは異なるものになるが、上田地域クラブとして持続可能な活動をしていこうとしたときに、地域展開後、行政はどこまで関わってくれるのか。部活動が今までうまくいっていたのは行政がついていたからだと思う。上田地域クラブに登録をしたクラブは、基本方針等をきっちり守っていく、それを行政が事務局として見ていってくれるのか。様々なことが変わっていくと思うが、地域クラブが淘汰され、どんどん民間化してしまうのではないかと不安を感じる。
  - （委員） 持続可能な活動にするための行政の関わりについてどうか。
  - （委員） 小委員会にも参加し協議した。小委員会では、この基本方針で概ね良いという意見であった。令和8年度はクラブと部活が混在した状態となり、令和9年度からクラブ化を目指す、国の方針として令和13年度までの推進期間がある。すぐにクラブに完全移行できるものではない。地域展開の流れを考えると、今後民間化するクラブも出てくると思うが、費用は受益者負担だが、クラブがマーケティングを行い、スポンサーを見つけながらクラブ運営をしていくということも発展的な姿としてあるのではないかと個人的に思う。不安になる部分というのは、ガバナ

ンス、ハラスメント等の部分になるのか、参考に聞かせて頂きたい。

(委員) 民間がいけないということではないが、ストップがきかなくなることが多い。週 11 時間の活動時間が本当に守られるか、会費の 3,000 円も補助金が出る 2 年間は良いかもしれないが、どんどん上がってしまうのではないかと。行政がどこまで地域クラブと一緒に歩いてくれるのかという点での不安である。

(委員) 令和 13 年までの推進期間の中で様々な問題が出てくると思うが、どう考えているか。

(事務局) 運営についての行政の関わり方については、基本方針の 5 ページに記載している。全体の統括を担う運営主体は市であり、基本的には継続して関わっていく。受益者負担の 3,000 円は令和 5 年度のアンケートを基本にしているが、国が今月中に目安を示すとしているためそれを参考にし、また実情に応じて決めていく。他市の先行事例では活動の内容により月 500 円のクラブもあれば 6,000 円のクラブもある。そのあたりの見極めも含め、立ち上げ時は行政で支援し、1 年間を通してやってみて会費の金額変更が必要になることもある。

民間クラブについては、活動を継続していくという意味で、例えば企業からの人的な支援、指導者としての協力や、用具の寄附なども考えられるのではないかと。地域として子どもたちの活動を支えることも大事なことで、見直しも行いながら進めていきたい。

(委員) 市が主体的・継続的に関わっていくということによいか。

(事務局) 部活動は示されているガイドラインの中で行っている。この範囲の中で行っていくのが適切であるので、週 11 時間の活動時間についてはクラブ認定の審査の際にしっかり確認していく。活動が始まると過熱化することも考えられるが、そこは適切に指導していく。

(事務局) 補足となるが、基準はやはりガイドラインで、その中で行うのが地域クラブであり、その範囲を超えるのであれば民間クラブとなる。ここがはっきりしていない部分が今まであったが明確にし、強化と普及を分けて考えていく。本当にやりたい人には民間クラブで存分にやってもらう。中学生がオリンピックでメダルを取るような時代、そういう中学生に対し全国一律の練習時間というわけにはいかないのと、やりたい子にはやらせてあげる。そして、普及としてのスポーツや文化に親しみたいという人には基準の中で活動してもらうことを大事にしたい。

(委員) クラブの登録申請時点で線引きをしっかりしておき、認定したクラブはそれに沿ってやってもらう。継続的に見守っていくことになるがとても大事な点である。

(委員) 基本方針 5 ページのこの表はとても大事だと思う。事務局というと中体連のイメージがあり、事務局が色々と監督、指示してくれるという意味で、事務局の存在がとても大きい。駄目なことは駄目と言ってくれるところがないと、ストップがかからなくなるのではないかと不安だったが、令和 13 年度までではなく、運営主体として上田市が見守ってくれることが分かって安心した。

(委員) 運営団体が、スポーツ少年団や総合型地域クラブとなっており、これらは民間クラブのようなものなので、いずれは民間に移っていくのではないかと。基本方針 5 ページの表の中に、運営団体として指導者会があるが、これに属するクラブというのはどういうところになるのか。また、小委員会委員として文化系には公民館が入っているが運動系には公民館は入らないのか。それから、中体連の大会について、令和 9 年度から部活がなくなっていくと、大会の主催はどこがするのか。運営等は誰が行うのか。そういったことも考えて作成されているか。各学校の保護者には説明されているのか。

(事務局) 指導者会は、四中の事例として挙げている。四中は地域展開を積極的に推進しており、そのとりまとめを指導者会でしているため運営団体の一つとして挙げている。公民館が運動系の小委員会に入っていないのは、公民館に文化系の活動が多いためであるが、市の公民館長会でも全体の流れなどは説明しており、活動の中身により運動系での登録もできると考えている。

中体連については令和 13 年までは国の推進期間であるため、大会も継続されると考えている。中体連大会に、クラブとして登録し出場しているところもあるため参加基準が見直されてくることも考えられる。市でも把握できていない部分があるため県にも確認していく。大会運営について運営団体や新しくできるクラブにご協力頂くこともあると思う。

保護者への説明としては、参考資料の「上田市中学校部活動地域展開情報」を 7 月に配布し、保護者と子どもたちに周知した。

(事務局) 補足だが、中体連の長野県の大会には 100 チーム以上がクラブとして登録、参加している。大会参加の要件の一つとして、運営に係るスタッフを出すということがある。これまでは部活動顧問が専門委員会を組織して運営していたが、大会に参加しているクラブはすでにそうして運営にも関わってもらっている。

中体連の大会が正式にどうなっていくかについては県も検討しているが、これは長野県だけでなく全国の話でもある。今は長野市の柳町中学校に中体連の事務局があり学校職員が運営しているが、部活動がなくなれば事務局がどこに行くのかは検討中であるとのこと。このことから大会運営はクラブで担っていく形になると思われる。

(委員) 不安については保護者も抱えていると思うが保護者の立場からどうか。

(委員) 今の保護者は部活動しか知らない年代で、新しい仕組みがまだ十分に理解されていない。「部活動地域展開情報」なども発行してもらっているので、これから理解が進み、保護者の声も届いてくるのではないかと。今はまだ不安が広がっているような印象がある。

(委員) 中体連の動きが分からないところもあるが、その動きに合わせて進めていくこととなる。広報等をきちんとしていってもらうことでよろしいか。

(委員) 中体連の大会について、2027 年度には 7 競技が廃止する方向で進められているようである。競技団体サイドと中体連とのやりとりは把握していないが、そのような動きもあるようなので、先行して備えていかなければならない。

(委員) 今後の動向に注目して進めていかなければならない。県から、オブザーバーとして参加して頂いているが、基本方針や募集要領についてアドバイス等はあるか。

(オブザーバー) 基本方針や募集要領が示されたことで見通しが持てた。昨年度から参加させて頂いているが、上田市の「中学生のやってみたいを地域で紡ぐ」という理念がとても良いと思う。国、県の示す方針として、地域に部活動を移行するのではなく、多世代の交流を経て地域のスポーツ等の環境を整えることが一つの目的となっているものの、そこまで届かない市町村が多い。上田市は多世代という部分をととても大事にし、国、県の方針に非常に合った地域展開の方向性を考えて頂いていることに感謝申し上げます。まだ、こういった実績が非常に少ないため、上田市の地域展開は全国にとって良い事例になっていくと思う。この「多世代」という部分を大事に進めていって頂ければありがたい。

(委員) 私も昨年度から参加させて頂いている。基本方針等の資料を見て、大きく動いてきた、だいぶ形になってきたと感じた。細かなところで、移動手段等、様々な課題はあるが、大きな目標があるのでそれに向かって進めていき、細部は少しずつ修正、サポートしていく形も大事であると今日お聞きしながら思った。

(委員) 基本方針、募集要領については概ね良いということだが、細かなところを明確に示していくことが今後必要との皆様のご意見であった。また、県や中体連の動向に合わせた対応も必要になってくる。広報の問題もあるので、進めながら修正していく必要も出てくる。皆様には大変大事な点についてご指摘頂きありがたい。

確認だが上田市の部活動地域展開については、今日示された基本方針と募集要領を基に、この方向で進めていくということで成案としてよろしいか。クラブ名称は事務局に一任ということなので決まったところでご報告頂きたい。

まだ不明な点や課題はあるが、今後それぞれの団体に持ち帰り、また保護者の声も聞きながら、不明点やご意見等を事務局の方に寄せて頂き明確な形にしていきたい。これからの本番である。いよいよ始まるが、様々な点でまた協力をお願いしたい。

## 5 事務連絡

(事務局) 本日の協議について、各団体に持ち帰りご意見ご要望があればお寄せ頂きたい。本日承認されたとおり 10 月からクラブ募集を開始するため、9 月 5 日 (金) までにご連絡頂きたい。本日の協議概要は皆様にご確認頂いた上でホームページで公表する。引き続き子どもたちの視点に立った地域展開の推進ということを図って参りたい。今後の会議日程だが、令和 7 年度第 2 回協議会を 12 月頃に開催予定である。

## 6 閉 会 (事務局)